

令和6年度 第1回 徳島県GIGAスクール構想推進本部会議

徳島県GIGAスクール構想推進本部事務局



次 第

日時 令和6年5月31日（金） 午後2時30分から午後3時30分まで

1 開 会

2 開会挨拶

3 協 議

- (1) 令和6年度推進本部及び各部会の設置について
- (2) 令和6年度の取組について
- (3) その他

4 閉 会

出席者名簿

所属及び役職	氏名(敬称略)	備考
徳島県教育委員会 教育長	中川 斉史	
徳島県市町村教育委員会連合会 会長	松本 賢治	
徳島県教育委員会 副教育長	松本 光裕	
徳島県小学校長会 会長	井上 圭三	欠席
徳島県中学校長会 会長	松尾 真千子	
徳島県高等学校長協会 会長	宮本 淳	欠席
徳島県立鴨島支援学校 校長	喜多 久美子	代理出席
徳島県特別支援学校長会 会長	名山 泰子	
徳島県教育委員会 教育次長 (幼・小・中学校担当)	海老名 正規	
徳島県教育委員会 教育次長 (高・特別支援学校担当)	眞摺 秀也	
徳島県教育委員会 教育政策課 課長	内海 はやと	
徳島県教育委員会 教育DX推進課 課長	戎 弘人	
徳島県教育委員会 教育DX推進課 主幹	黒田 収	
徳島県教育委員会 義務教育課 課長	長谷 彰彦	

出席者名簿

所属及び役職	氏名(敬称略)	備考
徳島県教育委員会 義務教育課 主幹	村岡 文英	
徳島県教育委員会 高校教育課 課長	酒井 吉彦	
徳島県教育委員会 高校教育課 主幹	藤本 智美	
徳島県教育委員会 特別支援教育課 課長	中山 登	
徳島県教育委員会 いじめ・不登校対策課 主幹	阿部 憲市	
徳島県立総合教育センター 学校経営支援課 課長	牧野 浩章	欠席 代理報告
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 課長	宮城 佳恵	
【事務局】徳島県教育委員会 教育DX推進課 GIGA・学び創造担当		
富永 憲志(主)、山下 芳紀(副)、楠 俊弘、大西 芳正、藤倉 新、播磨 敬二		

令和6年度 推進目標と全体重点目標

■ 推進目標

「教育DXによる学び・指導の充実と深化」

- ・「徳島ICT活用モデル」のA段階以上の実施率100%

■ 全体重点目標

①「徳島ICT活用モデル」を活かした効果的活用の実践

- ・ICT活用による「子ども主体の学び」の充実
- ・「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」についての研究

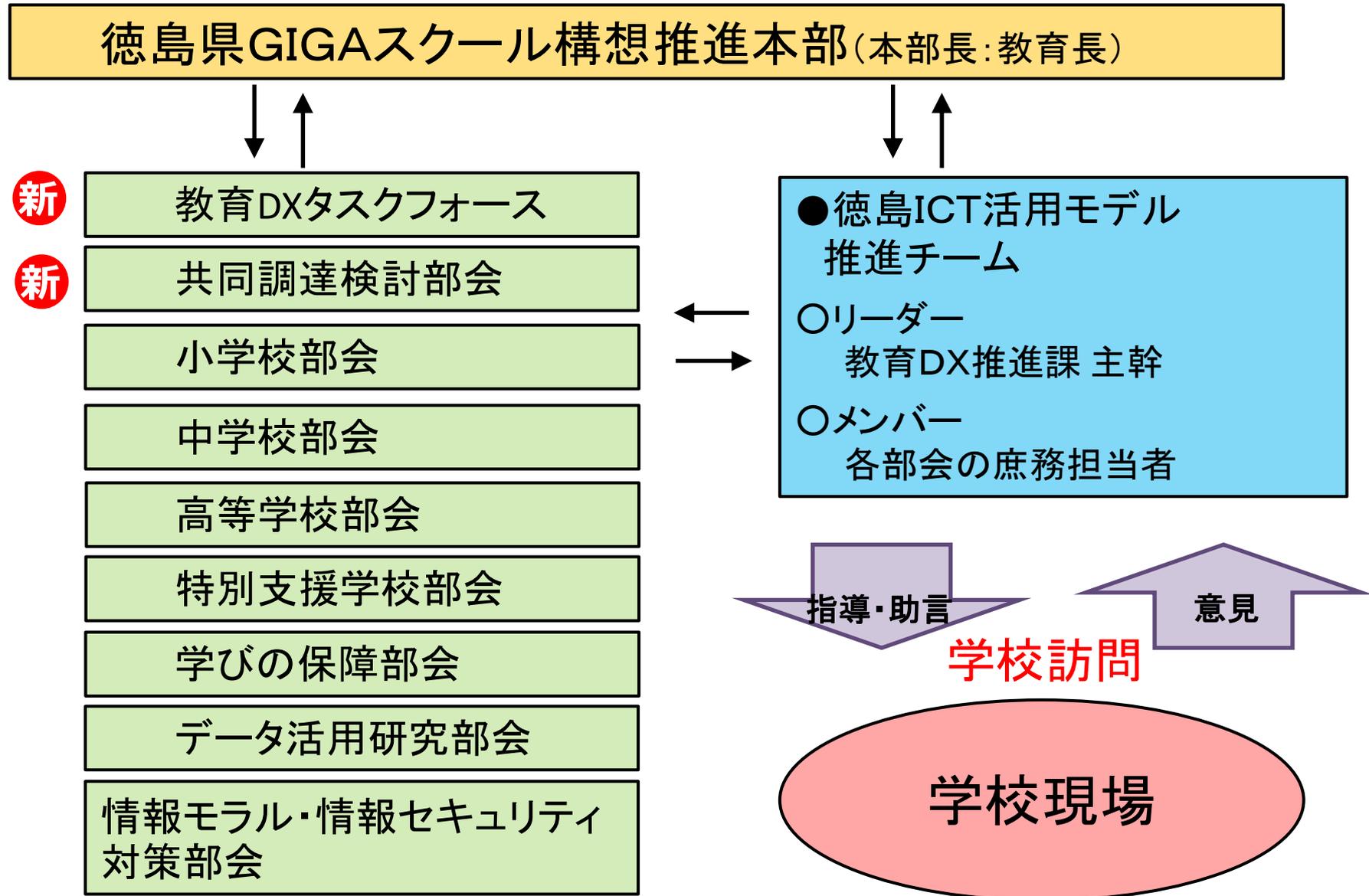
②教育DXによる新たな「学び」を創出

- ・「子ども主体の学び」と「ICT」のベストマッチを検証
- ・生成AI等を活用した授業を研究

③情報モラル・情報セキュリティ教育の充実

- ・デジタル技術の適正な利活用スキルと情報社会に参画する能力の育成

令和6年度の徳島県GIGAスクール構想推進体制

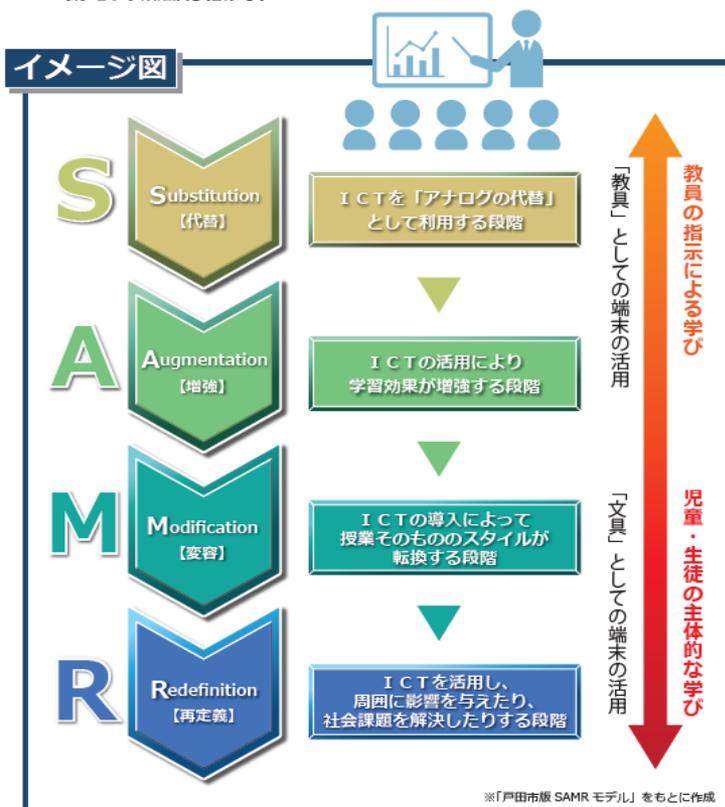


「徳島県 ICT 活用モデル」について



徳島ICT活用モデル

SAMR (セイマー) は、Substitution (代替)、Augmentation (増強)、Modification (変形)、Redefinition (再定義) の頭文字を取った言葉で、アメリカの教育学者・Ruben R. Puentedura 氏が 2010 年に提唱した ICT が授業や学習者にどのような影響を与えるのかを示す段階及び指標です。



- ・昨年度末、推進本部にて策定
- ・各校種の全教職員へ配布

目的

DXによる学び・指導の変革を推進するとともに、1人1台端末の日常的・効果的な活用を図る。また、ICTを活用した「子供の主体的な学び」の充実に向けた取組を進める。

本年度の目標

A段階以上の実施率が、全校100%を目指す。

「徳島県 I C T 活用モデル」の調査（5月）



校種	「S」段階	「A」以上の段階
全校種	47.1%	52.9%
小学校	40.2%	59.8%
中学校	51.2%	48.8%
高等学校	65.8%	34.2%
特別支援学校	45.4%	54.6%

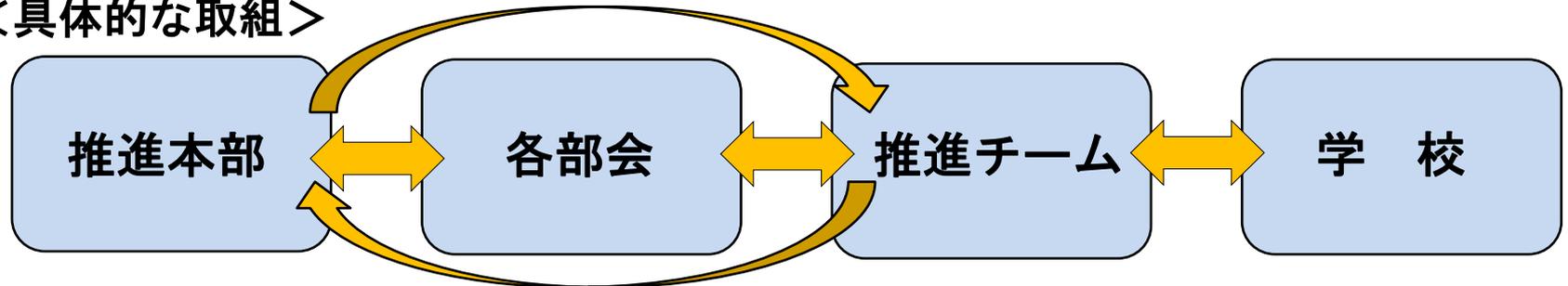
※中等教育学校(前期課程・後期課程)を含む

「徳島ICT活用モデル」をもとに各校への指導・助言を行い、教育DXによる学び・指導の変革、1人1台端末の日常的・効果的な活用を推進する。

<活動内容>

- 本部会や各部会での決定事項などを各校に周知し、学校現場における1人1台端末を活用した効果的な指導や家庭学習の一層の充実を図る
- 学校現場からの意見等を本部会や各部会に周知する
- 学校訪問等での指導・助言や好事例の収集
- 「徳島ICT活用モデル」に係る調査及び支援

<具体的な取組>



- 推進本部・各部会と学校との橋渡しの役割を担う
- 義務教育課・高校教育課・特別支援相談課が実施する全ての学校訪問に同行する
- 「徳島ICT活用モデル」に係る調査を実施する（5月分は実施済 次回は12月に実施予定）
※学校訪問未実施校は8月に追加調査予定



令和6年度 推進スケジュール

月	徳島県GIGAスクール構想推進本部		教育DX推進 関連事業
	推進本部・各部会	徳島ICT活用モデル推進チーム	
4	・推進本部・部会設置・委嘱	・学校訪問計画、準備、打合せ ・学校からの要望等に応じ指導助言(通年)	・県立学校教育情報ネットワーク担当者会
5	・第1回各部会(中旬) ・第1回推進本部会議(本日)	・「徳島ICT活用モデル」の調査① ・前期学校訪問実施開始 ・学校現場の意見等の集約(通年) ・部会の内容を共有し学校訪問で指導助言(適宜)	・管理職及び研修主任対象の研修会 ・GIGAスクールホート事業【要請訪問】募集・実施(通年)
6	・GIGAスクール構想推進月間		・教育DX推進事業モデル校の公開授業開始
7		・GIGAスクール教科等研究集会(小・中・特別支援学校)などへの情報提供	・小教研連絡会、中・高・特担当者連絡会 ・市町村教育委員会担当者との連絡会①

令和6年度 推進スケジュール

月	徳島県GIGAスクール構想推進本部		教育DX推進 関連事業
	推進本部・各部会	徳島ICT活用モデル推進チーム	
8		<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール教科等研究集会(高等学校)などへの情報提供 ・「徳島ICT活用モデル」の調査②(学校訪問未実施校対象) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル教育研修会
9		<ul style="list-style-type: none"> ・後期学校訪問実施開始 ・学校現場の意見等の集約(通年) 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回各部会 		<ul style="list-style-type: none"> ・教科研究大会などで指導助言(小・中)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回推進本部会議 ・GIGAスクール構想推進月間 	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の内容を共有し学校訪問で指導助言(適宜) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村教育委員会担当者との連絡会②

令和6年度 推進スケジュール

月	徳島県GIGAスクール構想推進本部		教育DX推進 関連事業
	推進本部・各部会	徳島ICT活用モデル推進チーム	
12		・「徳島ICT活用モデル」の調査③	・県立学校GIGA担当者会
1		・「徳島ICT活用モデル」の調査結果分析	
2	・第3回各部会	・分析結果の発信	・徳島県「教育の情報化」推進フォーラム開催 ・市町村教育委員会担当者との連絡会③
3	・第3回推進本部会議 ・次年度準備	・次年度準備	・本部会の内容をチーム会議で共有

令和6年度GIGAスクール構想推進本部【情報モラル・情報セキュリティ対策】部会

令和6年度重点目標

自他の権利を尊重し、デジタル技術を適切に扱う責任の自覚を高める

課題

- ・情報化の進展に即した情報モラル・情報セキュリティ教育の推進（児童生徒・教職員・保護者等）
- ・先端技術の教育実践への適正な利活用とルールの更新

方策

- ・情報モラル・情報セキュリティ関係の情報収集・発信
- ・「生成AI」等の利活用に関する事例収集・研究と「FAQ」の更新
- ・各校種部会と連携して具体的な内容を協議・検討

具体的な取組

	4月	第1回部会	6月推進月間	9月	第2回部会	11月推進月間	第3回部会	3月
【部会】	リーフレット等による情報モラル教育啓発		面談やPTA行事等の機会を捉えて保護者へ周知		中間まとめ	活用の好事例や保護者の啓発場面等を、学校から情報収集		成果の検証をもとに、作成物の改訂とR7の目標を設定
	生成AIの活用と、その課題について研究し整理							
【学校】	国及び他県の動向等をふまえ、「生成AI」等の取扱を各部会と協議・発信							「FAQ」更新
	年間指導計画に基づいた情報モラル・情報セキュリティ教育の実践と評価							「FAQ」等の周知
	情報モラル・情報セキュリティ対策に関する保護者等への情報提供・啓発							

・徳島ICT活用モデル推進チームとの情報共有

令和6年度重点目標

主体的なICT活用による学びの深化
～児童が自立的に学びを進める
学習をめざして～

情報を正しく安全に利用できる能力
の育成

課題

- ・教科等の特性を生かした効果的なICT活用の在り方の普及
- ・全ての教員がICTの実効性を実感できる機会の充実
- ・学習のねらいを達成するツールとしての活用の推進

- ・情報のリスクに対応する力を育てる情報モラル教育の充実

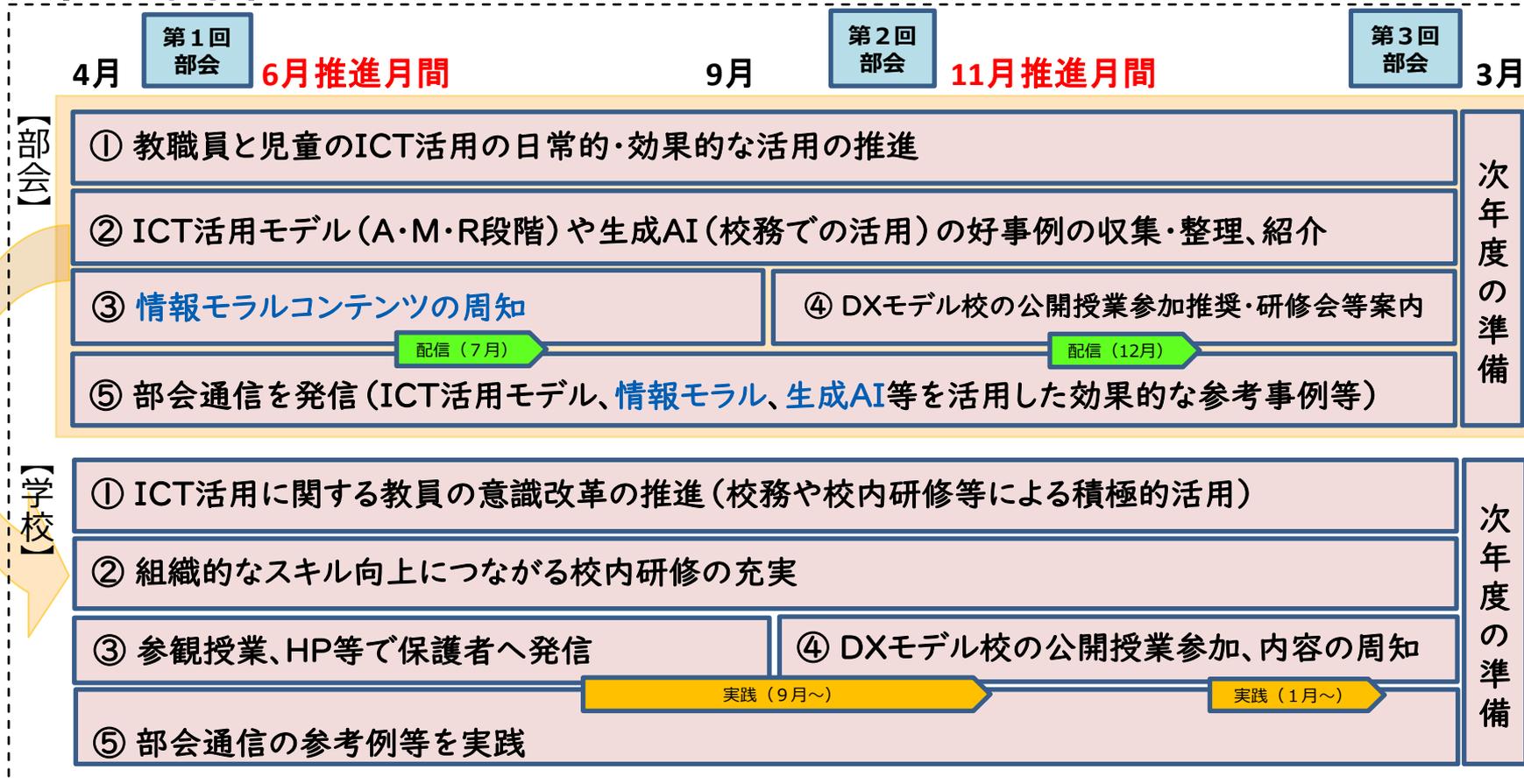
方策

- ・徳島ICT活用モデルの周知と活用の促進
- ・管理職を軸とした研修・研究の充実
- ・主体的・協働的な学びにふさわしい活用事例の周知

- ・自分ごととして考え、話し合う情報モラル教育の実施
- ・保護者と連携強化し、児童のSNS等のネット利用にも配慮した教育の実施



具体的な取組



児童の変容

取組前

調べ学習や振り返りの場面で、ICTのよさを実感し活用する姿

取組後

ICTを活用することに習熟し、児童自身が学習のねらいを達成するための手段として、ICTを活用する姿

令和6年度重点目標

「全教職員で取り組む1人1台端末の活用」～「徳島ICT活用モデル」から指導・学びの変革をめざして～

生成AIの使用による働き方改革、情報モラル・情報セキュリティ教育の充実



課題

- ・全ての教職員におけるICTスキルの格差
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けた好事例の発信

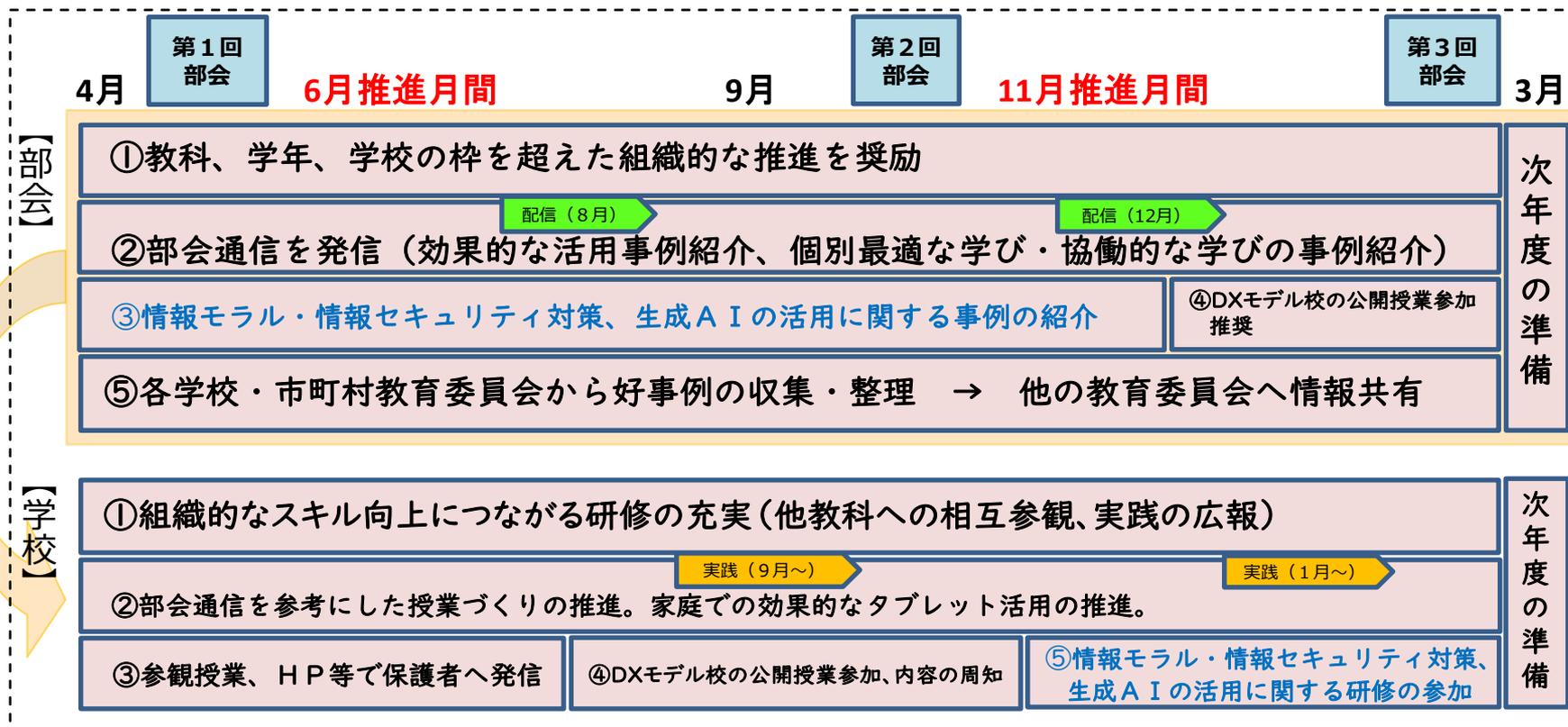
・校務や授業において、生成AIのさらなる活用、情報モラル・情報セキュリティ教育の実施

方策

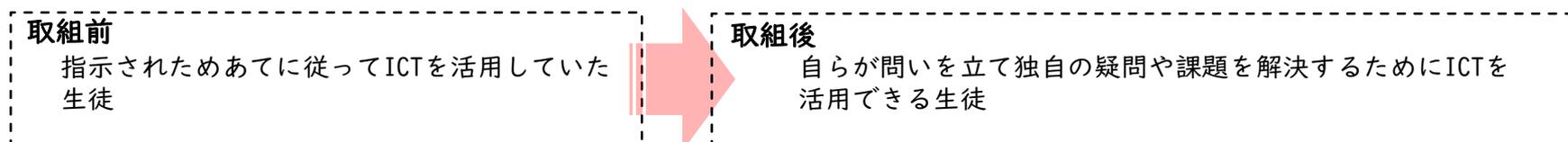
- ・個人内で立てる明確な目標
- ・リーフレットに掲載されている実践の積極的活用（「徳島ICT活用モデル」の実践）
- ・学校訪問で好事例を発信

・生成AI、情報モラル・情報セキュリティ教育に関するサイトの紹介、専門家の講演

具体的な取組



生徒の変容



令和6年度重点目標

これまでの実践を踏まえた、ICTの日常的な活用による「生徒主体の学び」と「ICT」との最適な組み合わせを実現

自他の権利を尊重し、デジタル技術を適切に扱う責任を生徒が自覚できるよう指導を充実

課題

- ・1人1台端末の日常的・効果的な活用
- ・ICTの活用を推進する校内体制の充実
- ・DXによる学び・指導の変革

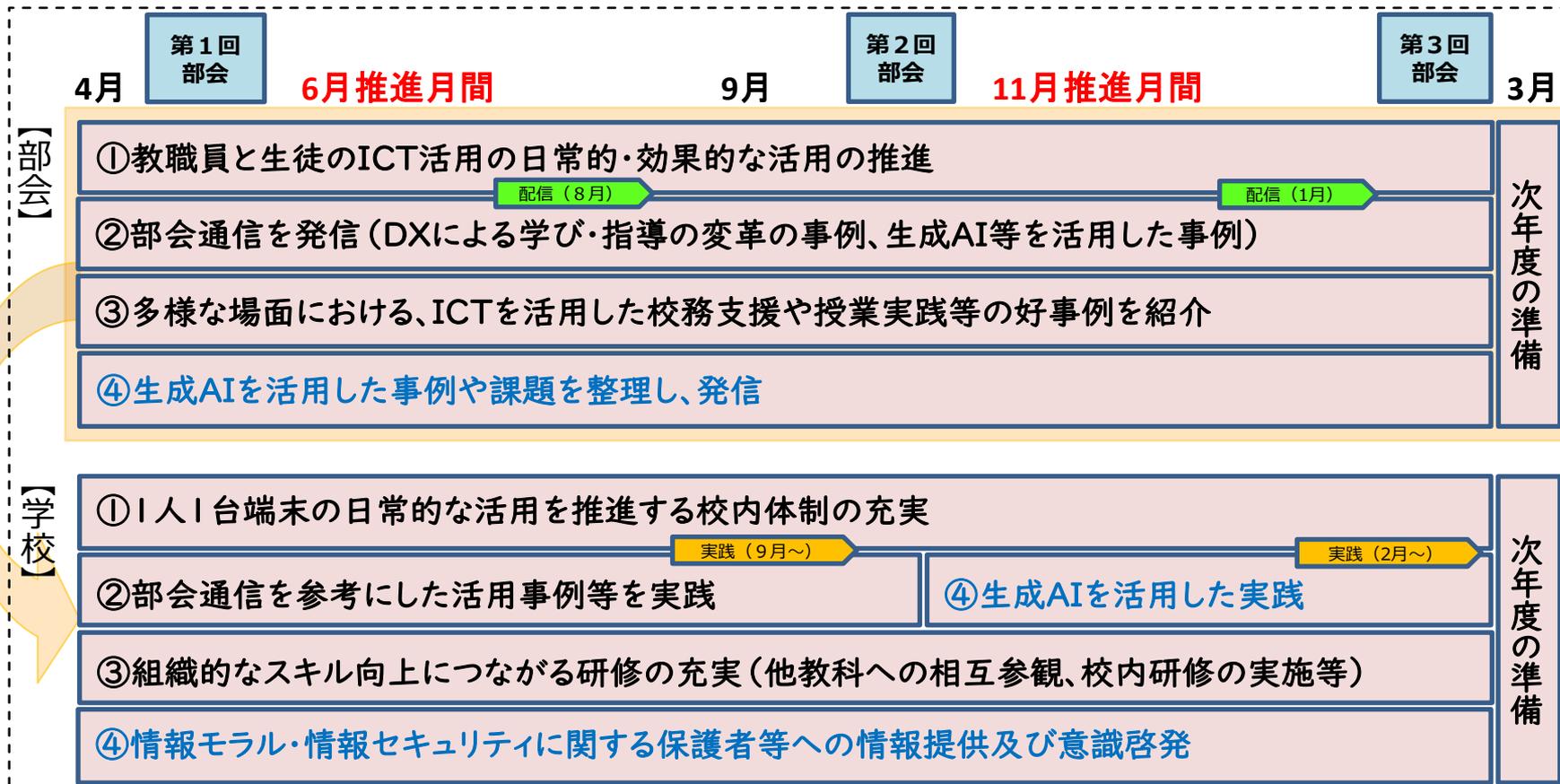
情報活用能力（情報モラルを含む）の育成と先端技術の教育実践への適切な利活用

方策

- ・ICTや先端技術を効果的に活用しながら協働的な学びを実施
- ・学校訪問等における研究授業の充実
- ・校務におけるICT活用も含めた活用事例を収集し部会通信等で発信

・「生成AI」等の利活用に関する事例収集・発信

具体的な取組



生徒の変容

取組前

教師の指示のもとでICTを活用していた生徒

取組後

主体的にICTを活用して他者と協働して考察や発信ができる生徒

令和6年度重点目標

ICTをフル活用した新たな「学び」や「体験」の創出
～シームレスにつながり、みんなの学びへ～

発達段階や障がい種別に応じた「情報モラル・情報セキュリティ教育」の充実

課題

- ・オンラインによる学校間交流の充実
- ・ICTを活用した新たな学びや体験の創出

実態に即した「情報モラル・情報セキュリティ教育」の充実

方策

- ・好事例を周知し、活用方法を共有
- ・専門家と連携し、新たな学びや体験に係る研究を推進

「情報モラルターゲット表」の活用による学習の拡充



「情報モラル研究会」の様子

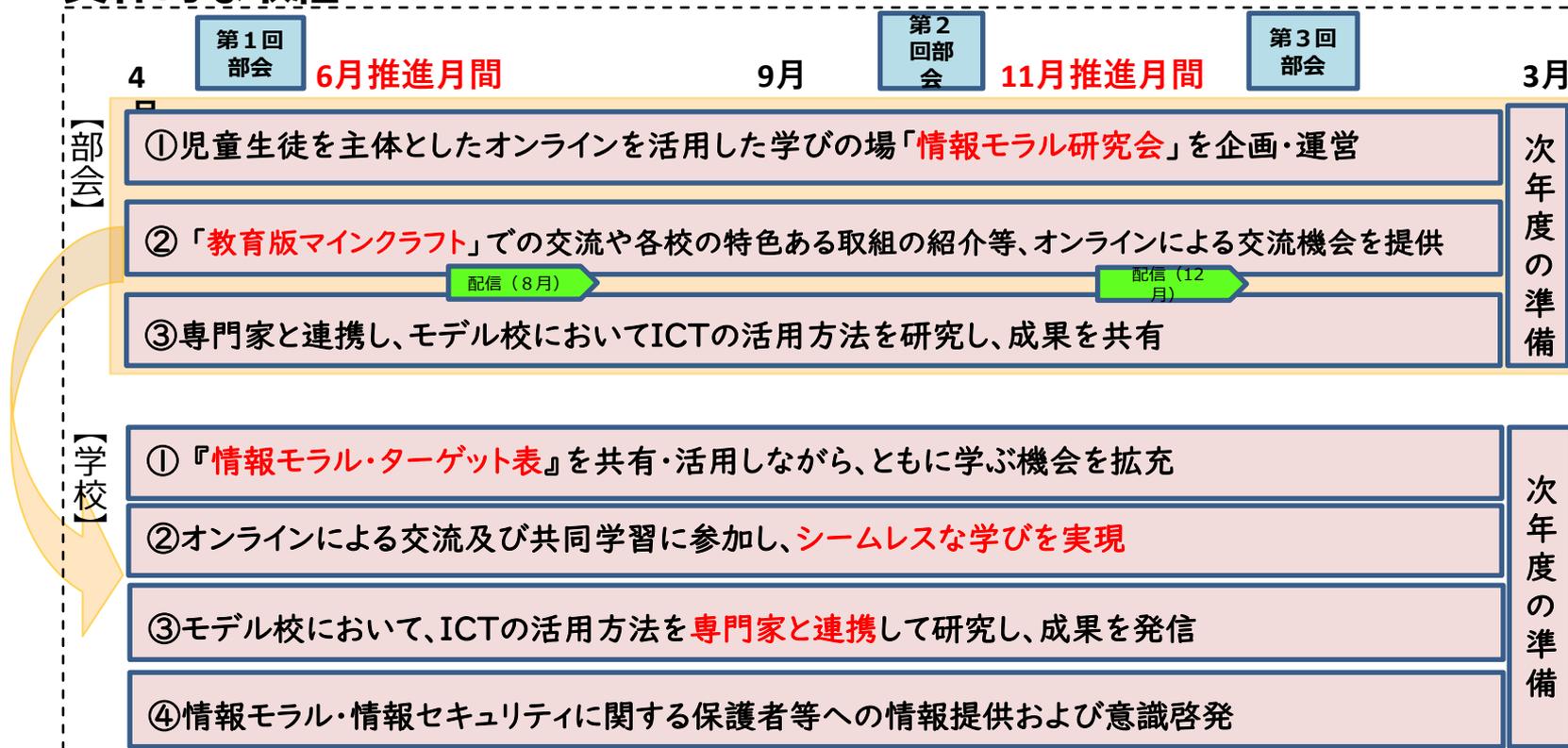


「オンライン交流」の様子



視線入力装置によるデザイン画

具体的な取組



児童・生徒の変容

取組前

限られた環境や関係の中で、
学びを進める子ども

取組後

新たな学びや体験に、主体的に挑戦する子ども

令和6年度GIGAスクール構想推進本部 【 学びの保障 】 部会

令和6年度重点目標

- ・「中くらいの器」としての『教育支援センター』及び『校内教育支援センター』との連携強化、周知
- ・「学校外の学びの場」における、効果的なICT活用・連携について事例収集、周知



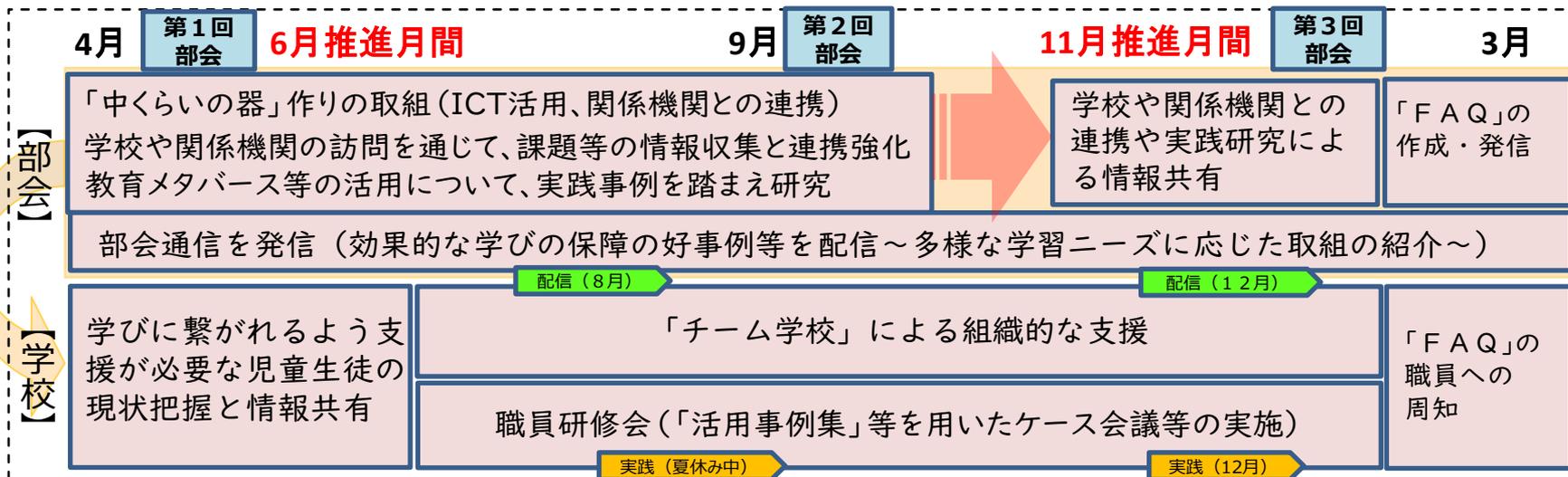
課題

- ・「早期発見」「早期支援」
 - ・学校外の学び場との繋がり
 - ・遠隔教育の指導内容や方法
- ICTの効果的な活用

方策

- ・アンケート調査による情報収集、ICT活用の効果的な実践研究
- ・教育支援センター、保健室等において取り組んでいる支援の好事例収集
- ・最先端技術の活用について、実践している好事例収集及び研究

具体的な取組



- ・ GIGAスクール推進チームとの情報共有
- ・ 「徳島 ICT活用モデル」の活用

令和6年度GIGAスクール構想推進本部 【共同調達検討】部会

令和6年度重点目標

義務教育段階におけるGIGA第2期の端末更新及び学校業務支援システムの更新

課題

- ・GIGAスクール構想推進に向けた、端末機器等の具体的な調達方針の検討
- ・「学校業務支援システム」の更新に向けた、次世代校務支援システムの導入の検討

方策

- ・端末調達に係る市町村の事務負担の軽減や、スケールメリットによる端末等の共同調達を通じた端末利活用等に係るノウハウを共有することで業務改善を図る。
- ・引き続き、他都道府県等への独自調査等を実施し全国状況の把握を行う。

具体的な取組

- ・学習者用コンピュータの共同調達の仕様等について検討を行う。

・文部科学省の端末の最低スペック基準より、ブラウザを通してクラウドにアクセスすることを基本とし、各種サービスを十全に活用することを可能にすることによって、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させること等を十分に踏まえる。

第1回
部会

- ・学校業務支援システムの更新に向けた導入方針について検討を行う。

・文部科学省「次世代校務DX新実証事業」に採択されたシステム等について、県域全体での次世代型システム導入の検討を行う。

第2、3回
部会

- ・「独自調査の実施・結果の分析」や「国の動向・予算要求状況」を踏まえ、学習用コンピュータの調達及び学校業務支援システムの更改を進める。

令和6年度GIGAスクール構想推進本部【教育DXタスクフォース】部会

令和6年度重点目標

徳島県における教育のDXを加速化し、教育に必要な環境を実現する協議及び調整を行う

課題

- ・県立学校におけるタブレット端末の再整備の実現及び、次期端末への更新等に関すること。
- ・ネットワーク環境の改善に向け、ネットワークの遅延等の改善に関すること。

方策

- ・他都道府県等への独自調査等を実施し全国状況の把握を行う。
- ・対象校の論理構成図や物理構成図及び現地調査を実施することで問題点を抽出し改善を行う。

具体的な取組

第1回 部会

- ・県立学校の1人1台端末の状況についての報告と、今後の更新に関する意見交換。
- ・県立学校のネットワーク環境の大幅な改善に向け、ネットワークの物理構成や論理構成をはじめ、利用実態など、総合的な調査に向けた検討を行う。
- ・「学校教育の情報化の推進に関する法律」に基づき、国が策定した「学校教育情報化推進計画」の策定するもので、本県の情報化の取組を推進するための、成果指標について検討する。
なお、当初計画の指標に関連する事業が実施できないため、一部、指標の変更を行った。
- ・他都道府県への独自調査の内容について、意見交換。

第2、3回 部会

- ・「独自調査の実施・結果の分析」や「国の動向・予算要求状況、全国団体の要望状況の把握」を行い、これらを踏まえ、制度設計素案を作成する。

令和6年度重点目標

・CBTの効果的なデータ利活用及びMEXCBT運用についての調査・研究

経緯

- 令和4・5年度、1人1台端末を活用し、CBTによる本県独自の学力調査を実施（小学校・中学校の抽出校による実証）
- 令和4年度は4校、令和5年度は51校で試行テスト及びアンケートを実施
- 令和6年度は、2年間の運用・活用をしてきた県独自システムから、文部科学省が開発・展開を進めている公的CBT「MEXCBT（メクビット）」への移行を見据え、それに係る調査や研究を中心に活動する。

課題

- ・MEXCBTで取得可能なデータの活用方法について
- ・独自の学力調査等をMEXCBTに登録するまでの課題の洗い出し

方策

- ・MEXCBTを部会員で試験使用する。
- ・他県のMEXCBT運用状況等について調査する。

具体的な取組

・MEXCBTで独自の学力調査等を実施するためには、大まかには次のフェーズがある。

- | | | |
|--------------|----------------|----------------------|
| (1) 作問フェーズ | ①問題の作成 | ②問題のMEXCBTへの搭載 |
| (2) 調査実施フェーズ | ③研修や問題配信等の事前準備 | ④調査の実施 |
| (3) 結果返却フェーズ | ⑤解答データの取り出し | ⑥採点 ⑦結果返却・可視化 ⑧結果の分析 |

⇒ MEXCBTの特性やデータ活用の方法などについて研究する。

⇒ MEXCBTで独自の学力調査等を実施している他県が、上記の各フェーズでどのような取組を行っているか調査する。